

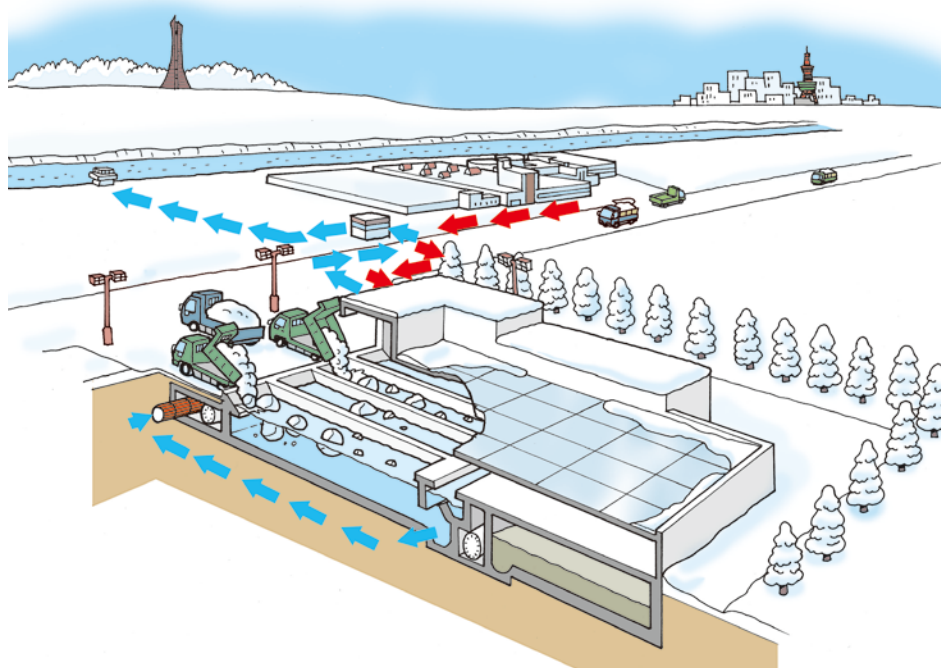
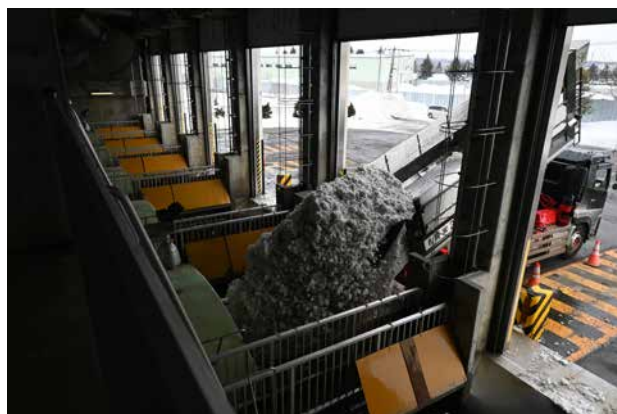
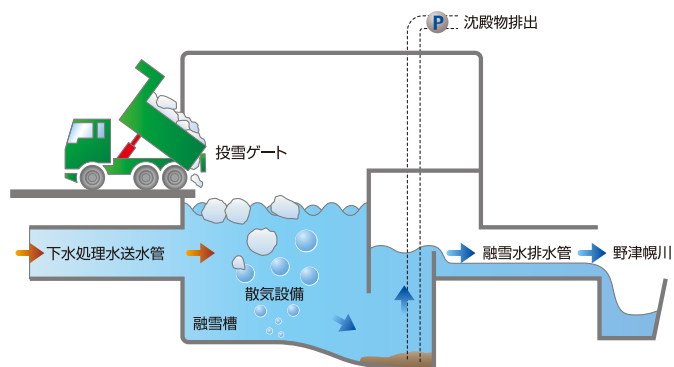
厚別融雪槽

流入水量の時間変動が大きく、水質濃度も高い厚別水再生プラザでは、汚水の流入負荷変動を平均化して、処理水質の向上と安定化を図るための汚水調整池が必要です。

この汚水調整池は、冬期間に流入水量変動が小さくなり、施設の半分に余裕ができることから、厚別水再生プラザの下水処理水を送水し、融雪槽として活用するものです。

施設概要

位 置	札幌市厚別区厚別町山本1073-21
事 業	下水道事業（積雪対策下水道事業）
供 用 開 始	平成5年1月
槽 の 容 量	16,000m ³ 、うち融雪槽分8,000m ³ 、幅5m×長さ42m×水深6.5m×3列×4池（融雪槽分2池）
熱 源	下水処理水（厚別水再生プラザ）
送 水 量	約110,000m ³ /日（自然流下）
融 雪 能 力	日中5,000m ³ /日（ダンプトラック約570台） 夜間5,000m ³ /日（ダンプトラック約570台）
融 雪 促 進	散気設備による攪拌
投 雪 口	6か所（ダンプトラックによる直接投入）
放 流 先	野津幌川



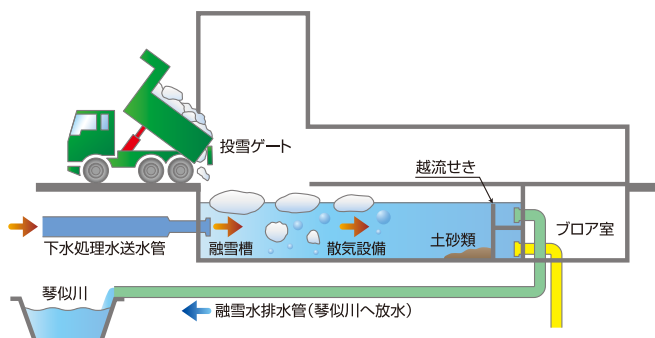
新川融雪槽

汚泥処理の集中化に伴い休止となった新川水再生プラザ内の汚泥処理槽を、雨天時に合流式下水道から河川に放流される汚濁負荷を削減することを目的とした雨水滞水池として位置付け、冬期間は新川水再生プラザの下水処理水を送水し、融雪槽として施設の有効利用を図るものです。

平成16年に併用を開始し、令和4年からは融雪能力を約1.5倍に増強しました。

施設概要

位 置	札幌市西区八軒9条西7丁目(新川水再生プラザ内)
事 業	下水道事業(リサイクル推進事業 再生資源活用型)、 (能力増強：下水道エネルギー・イノベーション事業)
供 用 開 始	平成16年2月、令和4年2月(能力増強)
槽 の 容 量	3,000m ³ 、(幅12.4m×長さ31.2m×水深4.0m×2列)
熱 源	下水処理水(新川水再生プラザ)
送 水 量	約48,600m ³ /日
融 雪 能 力	日中6,000m ³ /日(ダンプトラック約430台) 夜間8,000m ³ /日(ダンプトラック約570台)
融 雪 促 進	散気設備による攪拌
投 雪 口	4か所(ダンプトラックによる直接投入)
放 流 先	琴似川



発寒融雪槽

土地利用の高度化など、将来の市街化による雨水流出量の増大に対応する発寒雨水調整池は、冬期間には流入する雨水がないことから、隣接する発寒清掃工場のごみ焼却余熱を利用して、融雪槽として活用するものです。

施設概要

位 置	札幌市西区発寒14条14丁目1081 (発寒工業団地内)
事 業	下水道事業 (積雪対策下水道事業)
供 用 開 始	平成7年2月
槽 の 容 量	1,900m ³ 、(幅14m×長さ17m×水深8m×1池)
熱 源	発寒清掃工場のごみ焼却余熱
利 用 熱 量	約5Gcal/hr=5,000,000kcal/hr
融 雪 能 力	日中もしくは夜間2,200m ³ /日(ダンプトラック約160台)
融 雪 促 進	造波機による攪拌
投 雪 口	3か所(ダンプトラックによる直接投入)
放 流 先	公共下水道

